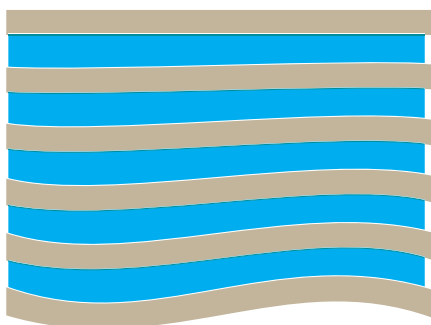




巡、回展

波のした、  
小森はるか、

+  
土のうえ  
瀬尾夏美



岩手県の沿岸に位置する陸前高田という町で、津波のあとの時間を暮らした映像作家の小森はるか、画家で作家の瀬尾夏美。

——私たちはただただ、日々変わっていく風景を目の当たりにしながら、陸前高田の人びとに話を聞かせてもらいながら、4年間の移り変わりのかたわらに身を置き続けました。私たちの作品は、この土地と、この土地に生きる人びとの声を拾おうとする一連の行為の集積と言えるかもしれません。同時にそれらが土地の記録の一部となり、声を届ける媒体になろうとする「表現」のひとつの形となるように、と考えています。

「波のした、土のうえ」。津波のあとに残された痕跡とそこに宿る人びとの記憶を、素手で収集しつづける一連の行為の集積が、大津波から5年目の今年、1年かけて日本の各地を巡回します。

Komori Haruka + Seo Natsumi  
Traveling Exhibition  
*under the wave, on the ground*  
in Morioka

第2回  
**2**  
盛岡

2015年  
8月28日-9月13日  
11:00-19:00

@Cyg art gallery  
岩手県盛岡市内丸16-16 大手先ビル2F  
<http://www.cyg-morioka.com/>

巡、回展

波のした、  
小森はるか、  
+  
土のうえ、  
瀬尾夏美

大津波から4年と約半年。それぞれにとってのこれまでがあったと思います。津波に洗われた東北の沿岸部にも、東京にも関西にも九州にも、どこに暮らす人びとにも、それは同じようにあったでしょう。私たちは東京の大学院生だった2011年4月に初めて東北の沿岸部を訪れ、地域の人たちに助けられていく体験を通して、「ここに生きている人たちの声を誰かに届けたい」と考えるようになりました。そこで、時間や距離を越えて声を届けるひとつの方法として、「記録」に向き合い始めます。2012年春には岩手県沿岸の南部に位置する陸前高田市に拠点を移し、その土地のなかで暮らすことを選びました。私たちはただただ、日々変わっていく風景を目の当たりにしながら、陸前高田の人びとに話を聞かせてもらいながら、4年間の移り変わりの傍らに身を置き続けました。私たちの作品は、この土地と、この土地に生きる人びとの声を拾おうとする一連の行為の集積と言えるかもしれません。同時にそれらが土地の記録の一部となり、声を届ける媒体になるように、「表現」のひとつの形になるように、と考えています。本巡回展は2014年冬に発表した「波のした、土のうえ」という作品群の展示を軸とするとともに、訪れる各地で出会う人びととの対話を目的としています。大津波に洗われた陸前高田に経過した4年の時間と同じように、他の土地に流れた時間もまた、あの時誰かが予想したどれとも違うものであったでしょう。声を届けながら、声をあつめていく。巡回の過程を通して、私たちの作品はより多面的なものに変化していくのだろうと考えています。大津波から5年目のある日に、作品を通して、あなたと出会えたら幸いです。

2015年8月 小森はるか+瀬尾夏美

第2回 in 盛岡

Komori Haruka + Seo Natsumi  
Traveling Exhibition  
under the wave, on the ground  
in Morioka



波のした、土のうえ  
置き忘れた声を聞きに行く  
(映像/24min.)

高田町森の前花園  
(アクリル絵の具、紙)

波のした、土のうえ  
まぶしさに目の覚めたころ  
(映像/17min.)

やまをうごかす  
(アクリル絵の具、布)

トークイベント

参加費：無料 ※申し込み不要

ゲスト：酒井耕

2015年9月5日(土)  
14:00-16:00

ゲスト：阿部裕美、野田尚紀

2015年9月12日(土)  
14:00-16:00

ゲスト：清水建人

2015年9月13日(日)  
14:00-16:00

酒井耕

1979年長野県生まれ。東京農業大学在学中に自主制作映画を手掛け、卒業後、社会人として働いた後、2005年に東京藝術大学大学院映像研究科監督領域に入学。黒沢清、北野武らに師事し、在学中に長編『ホーム・スイート・ホーム』、終了制作『creep』(2007年)などを制作。2011年東日本大震災後、濱口竜介氏と共同で東北記録映画三部作『なみのと』『なみのこえ』『うたのひ』を監督。現在は、仙台で民話の記録活動を続けるほか、地域の映像アーカイブ活動に関わっている。

阿部裕美

1967年陸前高田市高田町生まれ。震災前は夫とともに和食「味彩」を営業。震災後は陸前高田災害FMパーソナリティとして活動。地元へ寄り添った丁寧な取材と言葉選びで多数の人気番組を生み出し、地元のみならず、全国にファンをつくる。現在は災害公営住宅にて、コミュニティづくりのお手伝いをしている。

野田尚紀

1968年盛岡市生まれ。盛岡一高を経て、早稲田大学卒業。1992年、IBC岩手放送入社。報道カメラマン、記者、ディレクターとして番組制作に携わる。2007年退社。総務省岩手県テレビ受信者支援センター(デジサガ岩手)次長を経て、2012年、映像制作配信会社「株式会社フロムいわて」を設立。代表取締役。岩手県立大学大学院総合政策研究科博士後期課程(放送・通信メディア研究)在籍中。

清水建人

1976年岐阜県生まれ。せんだいメディアテーク学芸員。2001年より現職。メディアテークにおける展覧会事業および、市民協働事業の企画運営を行う。近年担当した主な企画展は「高規格 大きな休息」、「高橋匠太 光の軌跡」(2009年)、「開館10周年 いま、バリアとはなにか」(2010年)、「志賀理江子 螺旋海岸」(2012年)、「記録と想起・イメージの家を歩く」(2014年)など。

シネマてつがくカフェ

参加費：300円 ※申し込み不要

「波のした、土のうえ」

2015年9月6日(日)  
14:00-17:00

てつがくカフェとは？

てつがくカフェは、わたしたちが通常当たり前だと思っている事柄からいったん身を引き離し、「そもそもそれって何なの？」といった問いを投げかけ、ゆっくりお茶を飲みながら「対話」とおして自分自身の考えを運くことの難しさや楽しさを体験していただくこととするものです。

小森+瀬尾作品「波のした、土のうえ」をみなさんとともに鑑賞したあと、対話の場シネマてつがくカフェを開きます。休憩時にはお飲物とお菓子をご用意しております。  
ファシリテーター：西村高宏さん、近田真美子さん  
西村高宏  
てつがくカフェ@せんだい/Cafe Philo(カフェフィロ)  
東北文化学園大学 医療福祉学部 教授(専門分野：臨床哲学)  
近田真美子  
てつがくカフェ@せんだい/東日本大震災を(考える)ナースの会  
東北福祉大学 健康科学部 講師(専門分野：精神看護学)

てつがくカフェ@せんだい <http://tetsugaku.masa-mune.jp/>  
考えるテーブルてつがくカフェ <http://table.smt.jp/?p=4097>

小森はるか+瀬尾夏美 ウェブサイト：<http://komori-seo.main.jp/>  
映像作家の小森と、画家で作家の瀬尾によるアートデュオ。2011年4月、ふたりで沿岸部のボランティアに訪れたことをきっかけに結成。2012年4月に岩手県気仙郡住田町へ移住。沿岸の陸前高田市を中心に、移り変わる風景や人びとのことばの記録を続けている。また、記録を未来や遠くの人に受け渡すための表現について考えながら、多様なアート表現をつくり出している。

2015年8月28日-9月13日 11:00-19:00 入場無料

レセプションパーティー

9月12日 19:00- 料金 1000円 (ワンドリンク+軽食)

申し込み TEL 019-681-8089 (Cyg art gallery) <http://www.cyg-morioka.com/>

共催：Cyg art gallery、小森はるか+瀬尾夏美 協賛：株式会社フロムいわて デザイン：浅田大輔 記録：細谷修平 字幕制作：加藤久美子(Penguin Translation) 助成：公益財団法人朝日新聞文化財団、企業メセナ協議会GBfund、公益財団法人野村財団 協力：道純恵、一般社団法人NOOK、せんだいメディアテーク3つが11にちをわすれないためにセンター、てつがくカフェ@せんだい 感謝：阿部裕美さん、鈴木正春さん、紺野勝代さん、陸前高田のちっちゃな花菜(はな)畑のみなさま、喫茶風(ふねうま)、陸前高田災害FM、佐々木農機、食堂かもん、大坂写真館、佐藤たね屋、陸前高田のみなさま、住田町のみなさま 706 公益財団法人 野村財団 東日本大震災 芸術文化による復興支援ファンド GBfund 企業メセナ協議会



お車をご利用の場合

盛岡駅より 約10分  
盛岡I.Cより 約20分

※Cyg art galleryには専用駐車場がございません。近隣のコインパーキングなどをご利用ください。

バスをご利用の場合

県庁・市役所前 停留所より 徒歩5分  
盛岡バスセンターより 徒歩20分

Cyg art gallery

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸16-16 大手先ビル2F  
問い合わせ先：(Cyg art gallery)

TEL 019-681-8089 MAIL [info@cyg-morioka.com](mailto:info@cyg-morioka.com) HP <http://www.cyg-morioka.com/>

